

令和7年度第1回川口市立美術館運営審議会 会議録

日 時 令和7年7月28日（月）10時～11時30分

場 所 川口市役所第一本庁舎6階 601大会議室

出席者 （委員）伊藤会長、岩田副会長、平井委員、稲川委員、入野委員、寺山委員、
富澤委員、原田委員、金口委員、宮本委員

（事務局）松本市民生活部長、岩谷文化推進室長、青木室長補佐、

蓮見主査、榎主任、茂木主任

議事録

1 開 会

2 委嘱書交付

3 市長挨拶

4 委員等紹介

5 報告 ロゴ・シンボルマークの決定について

【説明】 （事務局より説明）

【質疑・意見】 なし

6 議事

・議題（1）アクションプラン・タイムラインの策定について

【説明】 （事務局より説明）

【質疑・意見】

（会 長） 委員から質問・意見を願う。

（委 員） コンセプトの実現に30年を要するとのことだが、企業では短期1年、中期3～5年、長期10年である。30年というのは適正なのか。

（事務局） 30年という長い時間軸での目標設定としているが、5年間程度の期間で見直しを図っていくものである。

（委 員） 30年とした基準はあるのか。他の美術館の状況はいかがか。

（事務局） 他市の美術館では10年が多い。本市としては、5年間で見直しを図りながら30年で目標を実現させるという計画とした。

（委 員） このコンセプトがゴールであるならば、30年は長いのではないか。

- (事務局) ご指摘のとおり、このコンセプトが10年後に達成されていれば、結果的にタイムライン自体は縮まるものであると考えられる。しかしながら、美術館を指定管理者とうまく連携しながら運営していく必要があり時間をある程度要する必要があると考え、30年のタイムラインとした。
- (委員) 但し書きにより、「状況に応じてタイムラインは縮まるものである」のような記載を追記してはどうか。
- (事務局) 事務局で再検討する。
- (委員) 30年後にはコンセプトが変わっているのではないか。
- (事務局) あくまで現時点でのタイムラインであり、アクションプランは5年ごとに見直しを図ることも想定している。また、審議会の中で委員の皆様でご審議していただくことも可能ではないかと考える。
- (会長) これらの意見を踏まえ事務局で再検討を願う。
- (委員) 評価指標の「観覧者数」について、常設展は市内外となっているが、企画展は市内のみと読み取れる。企画展も市外の方も観覧されるだろうし、いずれ評価する時のことを見据えると基準としては統一した方がいいのではないか。また、評価指標の一つとして、子供たちがどれくらい来たかというのを追加してはどうか。
- (事務局) 「観覧者数」の基準については、評価のしやすい方法を踏まえて事務局で再検討する。また、指標についても再検討する。
- (委員) 年間目標の入館者数の根拠は。また、開館時間に係る評価を入れてはどうか。
- (事務局) 入館者数の根拠として、人口比率から、本市の人口約60万人の2～3割程度の12万～15万人であることと、美術館の延べ床面積約4,300㎡に対して1㎡あたり20～30人程度で8万～12万人であることから、これらを根拠に入館者数は15万人とした。なお、埼玉県立近代美術館の令和5年度の入館者数は、約17万人とのことであった。また、開館時間は10時から18時の予定であるが、指定管理者からはレストランを9時から22時で営業したいと要望が出ているため、企画展や週末等、来館者が見込める時のみ開館時間を変更することも検討できるかと考えている。

- (委 員) 採算については、指標に載せなくてよいのか。
- (事 務 局) 収支計画と解釈したが、5年間の指定管理料として定められているものであるため、審議会で評価すべき事項か否かを、事務局にて検討する。
- (委 員) 入館者数の想定については、市外の方々も想定して検討してほしい。市外の方々から美術館に訪れたいと良く評価されていくことで、自ずと内部からも良い評価を受けることになると思う。地域色を強くしすぎると、新しいアイデアが生まれにくくなる。また、コンセプトの実現を早めるためにも、定性評価に具体性を持った方がよい。
- (事 務 局) 地域色については、本市ゆかりの作品というコンセプトがあり、他市の美術館でも同様に展示されていることから、常設展の中で展示していきたいと考えているが、企画展で外部評価を高めていけるような展示ができたらと考えている。
- また、定性評価を具体的に定めることでコンセプトの実現を早められると事務局としても同じく考えているため、市でグリップを握りながら実際に運営を行う指定管理者にも指標やタイムライン等を情報共有し、運営に努めたいと考えている。
- (委 員) 評価指標のアクセシビリティにも配慮した施設運営における利用者満足度が75%となっているが、障害のある方や高齢の方も一人で安全・安心に楽しめるものだとインクルーシブを全面に説得を行ってきたため、限りなく100%に近づけるべきであり上方修正を検討してほしい。
- (事 務 局) 運営におけるアクセシビリティについて、今後検討していくべき内容かと考えている。事務局で検討する。
- (委 員) 利用者満足度はどのようなツールでとるのか。
- (事 務 局) 二次元コードの利用や、ご年配の方に配慮して紙媒体によるアンケート等を考えている。

議題(2) 令和7年度のスケジュール(予定)について

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】

- (会 長) 委員から質問・意見を願う。
- (会 長) 作品をしばらく置けない期間があると聞いているが間違いないか。
- (事務局) 建物から出る化学物質が作品に悪影響とのことで、8月頃までは枯らし期間として作品は設置しないこととしている。その間はイベントやワークショップを実施する予定である。
- (委 員) 美術館はリリアと一体でオープンするのか。
- (事務局) リリアは4月、美術館の竣工は1月24日を予定している。

7 その他

【説明】 (事務局より説明)

【質疑・意見】 なし

8 閉会